

番号	災害発生鉱山 管轄産業保安 監督部	県名	発生年月日時間	鉱種	鉱山労働者数 A:9人以下 B:10～49人 C:50～99人 D:100人以上	災害事由	罹災者数(人)					原因となった装置・施設 等	危険有害要因(ハ ザード)の内容	災害概況	リスクマネジメント実施状 況(発生前)	原因	対策	詳細情報
							死亡	重傷		軽傷	計							
								4週間 以上休 業のも の	2週間以 上4週間 未満休 業のもの									
1	関東	栃木	H20/05/22(木) 10:20頃	石灰石・ ドロマイト	D	外・油の排出	-	-	-	-	-	場内側溝	重油配管の撤去作業	重油配管の撤去作業中、配管を切断してクレーンで吊り上げたところ、管内の重油の重みで油止めのビニール袋が外れて重油が河川まで流出した。	現況調査、リスク評価、対策、見直しは実施されていたが、油の公共河川への流出を想定したリスク評価は実施されていない。	・重油が残った状態で吊り上げ作業を実施した。 ・重油がこぼれた場合に河川へ流れ出す重大性を十分教育していなかった。 ・施工業者との間で、管内の油を事前に抜くこと、油留めの脱落防止について打ち合わせが行われていなかった。 ・撤去する配管の近傍に公共河川に連絡する側溝があった。 ・配管直下にパレットが置かれており、側溝が見えない状況だった。	・施工業者と不明確な点が残らないようチェックリスト形式の記録を実施 ・工場内排水ビット出口に油切りを設置	-
2	関東	埼玉	H20/07/13(日) 9:15頃	石灰石	D	坑廃水	-	-	-	-	-	選鉱場選鉱廃水 圧送パイプ	選鉱場選鉱廃水 圧送パイプの管理	選鉱場のシクナーから鉱業廃棄物埋立場への選鉱廃水を圧送するパイプに穴が空き、廃水が鉱山の選鉱場シクナーへ戻る側溝に流れ込んだが、側溝の一部が廃水の泥分により閉塞したことにより、側溝からオーバーフローして町道の側溝を経由し公共用水域(河川)へ流出した。	現況調査、リスク評価、対策、見直しは実施されていたが、圧送パイプの摩耗による破損によるリスク評価は想定していなかった。	・圧送パイプを吊っていた番線が腐食によって切れ、圧送パイプが下の石垣に接触しずれて、亀裂穴が生じた。 ・側溝の一部が廃水の泥分により閉塞してオーバーフローした。	・圧送パイプ支持方法を改善し、脱落を防止する。 ・排水口に監視カメラを設置し、常時監視可能とする。 ・点検・整備項目を見直し、圧送パイプに関する項目を追加する。 ・汚濁水流出に関する保安教育を実施する。 ・緊急事態発生時の連絡体制の再確認と訓練を実施する。	-